

【やさしいなあ】



職員室で食べた給食の食器を運んでいると、少し手が滑って、お箸が容器から飛び出しそうになり、バラバラになってしまいました。

すると、そこを通りかかったHくんが「だいじょうぶ」と言って、バラバラのお箸を整えてくれました。

そして、その後に「気をつけてね」の一言。なんて優しいんでしょう。

お年にして50歳くらいも離れている私に、本当にもういい歳の私に……。

誰というわけでもなく、分け隔てなく接することができるHくん。かっこよくて、ステキです。

そうじが終わって「おなかが痛い」とAくん。保健室へ向かいます。  
私「よく診てもらってね」と声をかけると、さっと、方向転換。「あれ？」  
「6時間目、お楽しみ会だった。5時間目に保健室に行くと出れないなあ」と、ひとりごと。  
あとをつけて行くと、教室の中へ。  
「おくれました。すみません」と、すまし顔。  
なんか、思わず笑っちゃいました。



雪の日。登校途中に子どもたちは、雪玉などを作りながら登校します。そして、学校まで来ると、それらを私に託します。中には、「とっておいて」という子もいるのです。これがかなり、困ってしまいます……。

苦肉の策で、事務室でお皿を借りて、保健室の冷蔵庫で保管を。「きっと忘れちゃうんだけどね」と私。

すると、保健室のS先生が「それでも、とっておいてもらってるのがわかったら、嬉しいですよ」

そうですね。その通り。ありがとう。

そして、私はそのように思ってくれる先生と一緒に働けて幸せです。



2022年があと少しで終わろうとしています。

新型コロナウイルス感染症の感染状況に大きな変化はありませんが、少しずつ、本当に少しずつではありますが、前に向かって進んだ1年かと思えます。

しかし、まだまだ今まで通りとはいかない窮屈さがあります。けれど、そんな中でも、毎日健気がんばる子どもたちのために、何ができるのかをしっかりと見極めていきたいと1年をふりかえりながら思います。

4月からのご愛読に感謝しつつ、少し早いですが、良いお年をお迎えください。そして、来年もよろしく願いいたします。